

外来診療担当医表

■ 診療時間 午前 8:30~12:30 午後 13:30~17:30

診療科目	月	火	水	木	金	土	日
内 科	一般内科	内之倉	内之倉	宮崎(久)	宮崎(久)	内之倉 宮崎(久)	当番医にて対応
	腎臓内科	永野	永野	永野	永野		
	循環器内科			本田 (月1回)	本田 (月1回)		
	代謝内科						
	神経内科				原		
整形外科・リウマチ	高原	高原	三島	高原	三島	高原(第1・3午前) 福大(第2・4)	
リハビリテーション	高原	高原	高原	高原	三島	高原(第1・3午前)	
小児科		小菅 (午後のみ)		小菅 (午後のみ)	多久		
耳鼻咽喉科	長崎大学 (12:30迄)	長崎大学 (12:30迄)			長崎大学	長崎大学 (12:30迄)	
精神科				清水			
泌尿器科	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎		
眼科						九州大学 (第1・第3)	
人工透析	永野	永野	永野	永野	永野	永野	
消化器検査(内視鏡)			清水(義)	清水(義)			

(内科系)午後担当医	永野 内之倉	内之倉	内之倉	宮崎(久) 本田 (月1回)	宮崎(久)	当番医師	当番医師

【備考】

- 内科系の午後診療は、当番制となっております。
- 内科/発達小児科/精神科/泌尿器科/眼科においては「予約制」を導入しております。
- 休診日は、祝日午後・土曜日午後及び日曜日。
時間外・休日等は、当番医師にて急患対応致します。

医療連携室

TEL 0969-37-1150(直通)
FAX 0969-37-1536



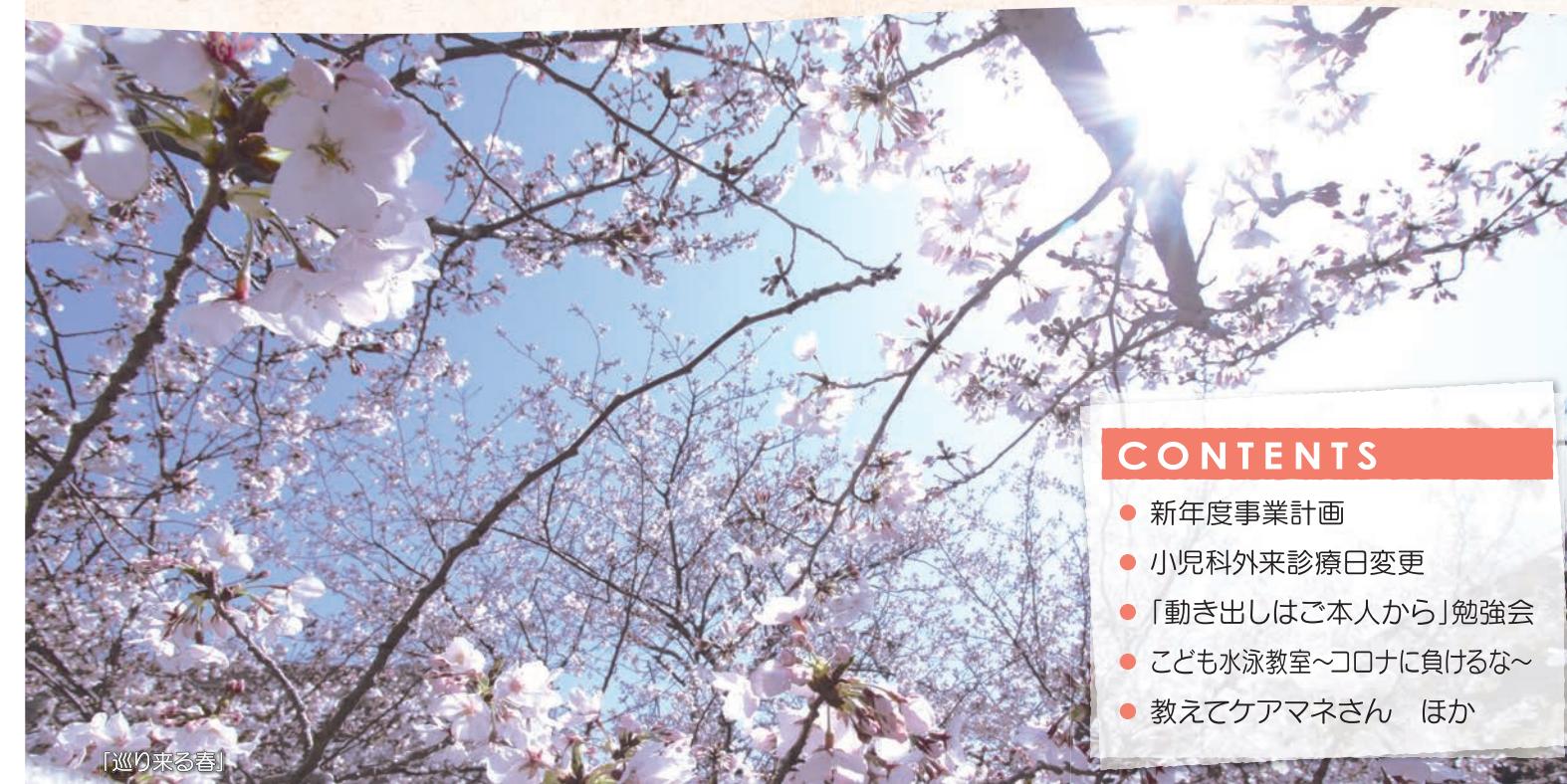
〒863-2502 熊本県天草郡苓北町上津深江278-10
TEL : 0969-37-1111 FAX : 0969-37-1536
H P : <http://www.inahokai.com/>

交通アクセス

●天草空港より車で25分 ●本渡バスセンターよりバスで50分 ⇒ 天草慈恵病院前 停留所下車 徒歩2分

医療・介護・福祉の総合的・複合的サービス提供

天草慈恵だより



CONTENTS

- 新年度事業計画
- 小児科外来診療日変更
- 「動き出しへご本人から」勉強会
- こども水泳教室～コロナに負けるな～
- 教えてケアマネさん ほか

経営理念

地域の人々に対し予防から予後まで心のかよった包括的医療サービスを科学的かつ適正に行う。

基本方針

- 医の原点は病者への奉仕にあります。患者様第一主義に徹した医療サービスの向上に努めます。
- 患者様の安全には細心の注意をはらいます。
- 無駄をばくさず適正な医療を行います。
- 地域における急性期医療を推進すると共に、在宅医療・老人医療など地域社会のお役に立つ病院を目指します。

2020年度 事業計画を策定

社会医療法人稻穂会では新年度の事業計画を策定しました。医療業界全体が直面するであろう2025年問題を見据えながら、当法人が地域において担うべき機能・役割を示したもので、全職員一体となり、心新たに事業計画推進に努めて参ります。

社会医療法人稻穂会 永野忠相

ビジョン【面倒見のいい病院・介護施設となる】

① 組織風土の改善

経営理念を今一度各人が確認し、各々の役割を理解共有する。管理職に対し権限移譲を行い自律性を促すことで新たな能力開花に期待する。目標達成のために多様な意見を受け入れる。

② 人材の確保と教育

地域高齢化や生産年齢人口減少を鑑み、引き続き元気高齢者(アクティビシニア)の採用に力を入れる。医師・薬剤師・看護師・介護福祉士を含めた有資格者確保のため、報酬面や教育・研修内容を充実させる。やりがいを持って業務を行える教育体制を構築し、離職者の減少を目標とする。

③ 働き方改革への対応

健常な従業員が収益性の高い組織をつくるという「健康経営」には引き続き取り組むと共に、職員の健康サポートに積極的に取り組むことで職員満足度の向上に繋げていく。年齢に関わらず一人一人の経験や能力をきちんと可視化した上で評価する。

④ 診療報酬改定対応

施設基準変更は行わず収入面でも新規加算取得に取り組むことで安定化を図る。IT機器活用による業務効率化、業務移管(タスクシフティング)、業務分担(タスクシェアリング)等を検討していく。地域のかかりつけ医機能をより強化し、各部署(部門)でのPDCAサイクルを回していくことで質の管理(QC活動)を行う。

AMAKUSA JIKEI HOSPITAL

2020 VOL.19 春号

発行：社会医療法人 稲穂会 天草慈恵病院

小児科外来診療日変更

本年4月より小児科外来の診療日を下記の通り変更致します。ご了承の程、宜しくお願い致します。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
休 診	【一般・発達小児科】 13:30~17:30 小菅 浩史 先生	休 診	【一般 小児科】 13:30~17:30 小菅 浩史先生	※要予約 【発達小児科】 8:30~17:30 多久 肇一先生

※月曜日は、小学生以上の予防接種(二種混合:11歳、日本脳炎:9歳、季節性インフルエンザ)のみ可能です。要予約 13:30~16:00

土曜日外来のご案内

整形外科

当院の整形外科では月～金曜日までの外来診療の他、土曜日も外来診療を行っております。

【土曜日外来診療日(2020年4～6月)】

4月の診療は 4日・11日・18日・25日

5月の診療は 2日・9日・16日・23日

6月の診療は 6日・13日・20日・27日

【担当医】

第1・3土曜 (8:30～12:30) 高原 智洋 医師

第2・4土曜 (8:30～14:30) 福大整形外科 医師

眼科

当院では、九州大学病院眼科医による診療を行っています。
外来診療のみで、眼科疾患全般を対象としています。
詳しくは、受付窓口までお問合せください。

【診療日程(2020年4～6月)】

4月の診療は 4日・18日(第1・3土曜)

5月の診療は 2日・16日(第1・3土曜)

6月の診療は 6日・20日(第1・3土曜)

診療時間

8:30 ~ 14:30

勉強会「動き出しへご本人から～の意味と大切さについて」

1月16日、天草慈恵病院にて「動き出しへご本人から～の意味と大切さについて」と題して特養・老健・医療施設ユニットケア研究会代表の武田和典先生にはるばる福島県から講師としてお越し頂き勉強会を開催しました。

勉強会では先生が全国の様々な施設と一緒に取り組んでこられたご自身の実体験等を動画等を使って分かりやすくお話し下さいました。

一貫グループ内の様々な施設から職種を問わず多くのスタッフが参加し、日頃、私たちが患者様に対して行っている様々な関わり方が、逆に「患者様の回復し良くなろうとする力を奪ってしまっている」ということに気付き、自らの業務や患者様への接し方等を見直す良いきっかけとなりました。

稲穂会においては今回の学びを始まりとして患者様の人としての尊厳を大切にできる支援が行えるよう勉強会や研修会を継続して行いたいと考えています。



こども水泳教室～コロナに負けるな～

新型肺炎コロナウイルス感染症が日本にも広まっている中、その予防策として小・中・高等学校、特別支援学校が休校となりました。当グループ内の子育て中の職員も「子供達が思いっきり体を動かせずにストレスを抱え体力低下に繋がらないか」と不安を抱いていました。そこで悠遊館では3月17日から毎週火・木曜日の13:00～14:00に「こども水泳教室」を無料開催し、水泳教室後は通所リハビリテーション蕩蕩館の2階「旧保育園」を17:30まで開放しました。保護者(職員)同士で空き時間に子供達の様子を見守り、更衣室・トイレ等の除菌を毎日行いました。プール水には次亜塩素が入っており0.4～1.0の水質基準値内で管理。子供達にも安心して楽しんで貰うことが出来ました。



教えてケアマネさん

このコーナーでは、介護にまつわる様々なお悩みに対し「ケアプランサービスJCS24」のケアマネージャー(ケアマネさん)が回答し「一貫グループではどのようなサービスをご提供できるのか」について紹介していきます。
(※登場人物や相談内容は全てフィクションです)

介護保険を利用して負担を減らしたい

Cさんのご相談

同じ町内に高齢の両親が夫婦二人で住んでいます。父は糖尿病を患い、母は数年前から認知症の症状が出始め、身の回りの事が出来なくなってきた。父の薬の管理を母が出来ないため、私が毎日のように実家に行き、薬の管理と両親の介護、家事もしています。私自身仕事を持ち中高生の子供も3人いるため仕事と家庭の事で実家を訪問するのがかなり負担になってきました。今まで介護保険を使ったことはないのですが、利用する場合どのようなサービスが受けられますか?



【相談者】Cさん50代主婦(帯北町在住)、両親を介護のため毎日訪問 80代の父(要介護1)、80代の母(要支援2)



ケアマネさんの回答

これまでご両親はお互いに助け合いながら生活してこられたのですね。今現在、Cさんのご負担がかなり増えているようです。例えば週1～2回ほど訪問看護をご利用になってはいかがでしょうか。訪問看護師によるお父様の薬の管理や指導、また体温・血圧・脈拍等を測定し健康状態も観察して貰えます。さらに週2～3回程訪問介護を利用して、買物・調理・掃除等の家事支援や排泄・入浴のお手伝いといったサービスを受けることも出来ますよ。(因みに、ご両親の介護保険を組み合わせると毎日30分から1時間程度の訪問支援が可能と思われます)。他にもデイサービス(通所介護)のご利用を検討されてはどうでしょうか。デイサービスでは、ご自宅までの送迎・健康観察・入浴のお手伝い・昼食とおやつの提供・レクリエーション・集団体操等のサービスが受けられ、家庭とは違う環境に身を置くことで気分転換にもなると思います。状況によっては介護老人保健施設の施設入所を選択肢の一つにお考えになるのも良いでしょう。介護サービスを活用することで介護負担がどなたにも集中することなく、その上でご家族助け合いながら暮らせる方法と一緒に考えて行きましょう。



通所・入所者へ手作りマスクを～通所リハビリテーション蕩蕩館～

通所リハビリテーション蕩蕩館では、利用者様の個々の趣味を生かした「クラブ活動」を行っています。その中でも「手芸クラブ」では、新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの品薄状態が続く中、3月中旬からマスクづくりを始めました。毎日少しずつですが作製し、10日間で50枚ほど出来上がり今後も継続していく予定です。この手作りマスクは、通所・入所者の方々へ配布し着用してもらうことにより感染予防に繋げていきます。

